

REPORTER'S EYE

【リポーター】
山田 恭子さん
(水野在住)
今回は、健康で衛生的な生活に必要な不可欠な狭山保健所を紹介します。



リポーターズアイでは、行政のしくみや話題性のあることがらを、市民のかたがリポートします。

監督や許認可の業務だけでなく 市民生活に密着した機関です

私は、以前から健康づくりや公衆衛生などに関心がありましたので、今回は狭山保健所をリポートし、田辺博義所長にお話を伺いました。

まず、私も含め、市民の皆さんには保健所の業務内容が分かりにくいのではないかと思います。そこで、簡単に仕事の内容について説明させていただきます。保健所は、行政機関としての管理・監督業務のほかに、住民の命と健康を守るためのさまざまなサービスを行っています。市民生活に関係の深いものでは、井戸水の検査、飲食店の許認可、自分自身の健康管理

市民がより安全に衛生的に生活していけるように……



上の写真は「ヘルシーエイジング講座」の家庭でできる運動のひとつです



理に関する血液検査などがあります。また、地区衛生に関する講習、薬に関する相談や講師の紹介、伝染病に対する指導、心の病や難病をお持ちのかたの相談とケアなども必要に応じて行っています。個人としてはもちろんのこと、老人会などで講習会を開き、講師をお願いするとよいのではないかと思います。また、ペットの飼いやなどは専門機関に講習依頼もしてくださるそうです。

それから、めまぐるしい現代社会に増えつつある心の病についても相談をはじめ状況に適切な専門機関の紹介など、市民に密着したメンタルケアを行っています。このように、保健所には多方面にわたり専門的な力がそろっているのです。その知識をいろいろな面で積極的に利用させてい



(福野112-13-1)

ただくと、もつと健康で文化的な市民生活をおくれるようになるのではないかと思います。つぎに、公衆衛生についてももう少し詳しくお話していただきました。私たちの食生活に重要な、食中毒の発生が多いと思いがちですが最近是一年か発生しているとのこと、常に油断はできません。また、消費者教室なども希望により開催しています。最近では品質に自信のある商店などでは、今までの白いパックから、中身の裏側も見やすい透明のものに変えるなど、衛生面により力を入れて販売をしているそうです。こういう動きをすばやくつかみ、市民側からも社会的な意識を高めていくことが必要ですね。

このように、保健所では、監督者としての顔だけでなく、市民生活に密着した講習やケア、指導なども行っています。市民がより安全に衛生的に、健康に生活していくために、ご尽力いただいていることがよく分かり、大変勉強になりました。これからも、私たち市民一人ひとりが、利用できる機関や制度を積極的に上手に活用して、快適な生活をおくってほしいと思います。

Opinion コーナー

VOL.22

松山千恵美さん
(入間川在住)



「紙を捨てない狭山市」を みんなでめざしましょう

私たちの学校では、今、紙の再利用活動を行っています。方法としては、教室の後ろにダンボール箱を設置し、いらなくなったメモ用紙や計算用紙をその中に入れるという、地道な、基本的なことです。

学校や企業では、紙がたくさん使われると思います。不要になった紙を、ごみとして燃やして灰にする、かなりのエネルギーが必要で、限りある石油資源や、原料となる木材もどんどん失われてしまいます。しか

し、束ねて集め、再利用して再び紙に生まれ変わられば、最近私たちの生活にも利用される機会が増えていくし、とても環境に優しいと思えます。そしてそれは、私たちに委ねられている責務ではないでしょうか。新聞紙だけでなく、セロハンテープやホチキスの付いていない紙なら、たとえページいっぱい書かれたノートでもよいのです。

まずは学校などの公共の場から、そういった行動を起こすことが大切だと思えます。もう始まっているのかもしれないですが、企業などの協力ももちろん必要です。一般家庭でも、公共の場でも「紙を捨てない狭山市」を市民みんなでめざしましょう。

HOBBY



陶芸
陶房びとろ
永嶋 清隆さん 北入尊

私は以前から仕事で地方に出かけることが多く、各地の焼き物を見る機会があり、陶芸に興味を持っていました。公民館の体験教室で初めて陶芸に触れ、今では週に一度サークルの皆さんと世界に浸りながら、楽しい会話にふだんのストレスは解消してしまいます。作っているときに無心になれること、どんな物に仕上がるかわくわくしながら窯出しを待つときが何とも言い難いですね。窯の中で真っ赤になって光る自分の作品は、正に輝いて見えますよ。

狭山の生態系シリーズ⑮



撮影：県生態系保護協会狭山支部
高橋昇さん 中新田

サンコウチヨウ

全長オス約45.5センチ、メス約17.5センチ。短い冠羽があります。オスは頭部と胸、わきが黒く、背は紫色、くちばしと目の周囲はコバルト色です。メスは背や尾は褐色みが強く、尾が短いです。低地から山地の林にすみ、細い枝のまたにコップ形の巣を作ります。「ヒッチョホイ、ホイホイ」と鳴きます。夏の渡り鳥で、狭山でも6月から8月くらいまで見られます。

エネルギー 狭山の企業⑮



東亜電波工業株式会社 北入尊 613
5716151

確かな技術で未来をひらく それが東亜電波工業株式会社です

東亜電波工業株式会社は、昭和19年に創業し、以来「技術のTOA」としてエレクトロニクスとケミカルの両分野でのトータル技術を駆使し、信頼される総合計測器メーカーとして社会に貢献するために頑張っています。ケミカルの面では、PHメーターという、河川の汚染や、酸性雨の測定などに使う計測器を製作しています。エレクトロニクスの分野では感電事故防止のための電気器具の絶縁状態を検査する計測器などを作っています。TOAは、環境保護を重視し、社会に役立つ商品を提供することにも、事業所内でも地球にやさしい環境づくりを目指して活動しています。